

HU-plus

広島大学の知に触れる情報誌
Hiroshima University Magazine Vol.28

August 08
2025



theme

伝える

特集

広島大学が描く、未来のカたち
#2「伝える」

知の交差点

未来に生き残る術。
社会を強くする神学と教育に通底した奉仕精神。

佐藤 優氏

元外務省主任分析官／作家

越智 光夫

広島大学 学長

被爆80年 記憶の継承

広島は今年、原爆投下から80年を迎えました。平和記念公園の原爆死没者慰霊碑をはじめ市内各所に200基を超える原爆の慰霊碑や記念碑があり、8月6日前後に追悼式や慰霊の催しが行われました。9つの前身校を引き継ぐ広島大学関係では、附属学校も合わせて6基の碑がそれぞれの校地や被災場所近くに建てられています。

東千田キャンパスの広島大学原爆死没者追悼之碑の前では、9カ国・地域11大学の学長らを招き、前身諸学校で犠牲となられた留学生を含む学生、生徒、教職員の皆さんの御霊に謹んで哀悼の誠を捧げるとともに核兵器の廃絶と恒久平和への誓いを新たにしました。

原爆投下から4年後「平和の大学」として広島の地に開学した広島大学にとっても、被爆80年の今年は節目の年であると考え、さまざまな平和関連行事に取り組んでおります。8月5日には世界的なオペラ歌手の中丸三千繪氏と本学の教員・学生・卒業生らによる「平和チャリティコンサート」をサタケメモリアルホールで開催しました。

翌6日は、第4回「平和学長会議」を開催。平和学長会議の参加校は延べ30を超え、議論も年々深化しています。国際交流協定校などの学生を対象に2023年度から始めた「ピーススタディーツアー」では今年、16カ国140人以上の学生が2024年ノーベル平和賞を受賞した日本原水爆被害者団体協議会（日本被団協）の箕牧智之代表委員や、被爆体験証言者の小倉桂子氏の講演に耳を傾けました。

東西冷戦後も厳しい国際情勢が続く中、曲がりなりにも広島・長崎に次ぐ第三の戦争被爆地が生まれなかったのは、日本被団協をはじめとする被爆者の皆さんが、身を賭して自身の体験を世界に向けて訴え続けられたからに他ならないと思います。しかし、被爆者の平均年齢が86.13歳となり、生存されている方もついに10万人を割りました。「被爆者なき時代」がそこまで来ている今、記憶の継承に向けて本学に課せられた使命の重さに身の引き締まる思いです。

広島大学は2023年、「President 5 Initiatives for Peace Sciences-新しい平和科学(安全・安心を実現する「創る平和」)-」として今後、進めていく5つの重点事項を発表しました。これからも学内外の組織や既存の活動との連携を強化し、「平和を希求する精神」を堅持しながら「平和を創る」大学へと取り組みを進めてまいります。

越智光夫

広島大学の知に触れる情報誌
Hiroshima University Magazine



【Hiroshima University】の魅力や情報をあなたに“プラス(+)”、【HU】とあなたが“つながる(+)”という願いを込めて。

CONTENTS

- 01 散詩語録
- 03 学長対談 知の交差点
元外務省主任分析官
作家 佐藤 優氏 × 越智 光夫
- 06 旬なトピックを世界に届ける HU TIME
- 07 特集 | 広島大学が描く、未来のカタチ
#2 伝える
- 13 研究者人生を導く 私の座右の銘
- 15 HU PRISM
- 19 卒業生インタビュー 私も広大です
- 21 Focus on! 人から深掘るHU
- 23 HU-Style
- 25 HU TOPICS
- 27 広大生のアクティブライフ!
- 28 読者アンケート・プレゼント
- 29 広島大学への寄附・基金

2025年8月、広島は被爆から80年を迎えます。過去の記憶を風化させず現代に伝えるため、広島大学ではさまざまな研究や取り組みが進められています。



広島大学 SNS

- 広島大学 (Hiroshima University)
- 広島大学 | LinkedIn
- @Hiroshima_Univ
- HiroshimaUniv

Instagramでキャンパスの日常を配信中



写真提供:一般社団法人広島県観光連盟



Marking 80 Years Since the Atomic Bombing: Carrying Forward the Memories of Hiroshima

This year, Hiroshima commemorates the 80th anniversary of the atomic bombing. Across the city, there are over 200 cenotaphs and monuments honouring the victims, including the Hiroshima Peace Memorial Cenotaph in Peace Memorial Park. Around 6 August, numerous memorial services and remembrance events took place. Hiroshima University—having inherited the legacy of nine predecessor schools—features six monuments on its former campuses or near the bombing sites, including those of its attached schools.

At the Hiroshima University Cenotaph for Atomic Bomb Victims on the Higashi-Senda Campus, we hosted presidents from 11 universities in 9 countries and regions. Together, we solemnly paid tribute to the souls of students—including international students—faculty, and staff members, who fell victim to the atomic bombing, and we renewed our commitment to the pursuit of lasting peace, including the abolition of nuclear weapons.

For Hiroshima University, founded in Hiroshima four years after the bombing with a mission to serve as a 'University of Peace,' this 80th anniversary represents a significant milestone. In recognition of this, the university has organized a range of peace-related events. On 5 August, a 'Peace Charity Concert' took place at Satake Memorial Hall, featuring the world-renowned opera singer Michie Nakamaru alongside Hiroshima University faculty members, students, and alumni.

On the following day, we convened the 4th 'University Presidents for Peace Conference'. To date, over 30 universities have participated in this event, with the level of discussions growing more profound each year. As part of our efforts to engage younger generations, we launched the 'Peace Study Tour' in 2023 for students from our international partner institutions. This year, more than 140 students from 16 countries attentively listened to lectures by Toshiyuki Mimaki, Representative Director of the Japan Confederation of A- and H-Bomb Sufferers Organizations (Nihon Hidankyo)—recipient of the 2024 Nobel Peace Prize—and Keiko Ogura, a prominent hibakusha who shares her experience of the atomic bombing with others. Despite the ongoing instability of the international order even after the end of the Cold War, the fact that no third city has suffered a nuclear attack like Hiroshima or Nagasaki is undoubtedly due to the tireless efforts of the hibakusha. They have devoted their whole lives to sharing their testimonies with the world. However, the average age of hibakusha in Japan has now reached 86.13 years old, while the number of survivors has fallen below 100,000. Given this situation, the time is fast approaching when there will be no hibakusha left. As this reality draws near, we feel the weight of our responsibility to preserve their memories and pass them on to future generations.

In 2023, Hiroshima University announced the 'President 5 Initiatives for Peace Sciences—New Peace Science [Creating Peace for Safety and Security]' as our roadmap for future peace-focused efforts. While strengthening collaboration with organizations both within and outside the university, as well as with ongoing initiatives, we will strive to become a university that not only pursues peace but also actively creates it.

Shi Mizuno

未来に生き残る術。

社会を強くする 神学と教育に通底した奉仕精神。

高等教育が判断力をつける
進学先に選んだのは神学、その先には

越智 今回は、同志社大学などで教鞭をとられている佐藤優先生にお越しいただきました。佐藤先生は小学生のころ、教会に通われていたようですね。

佐藤 母親の影響で通っていました。子どものころから、良い大人たちに恵まれましたよ。

越智 先生のお話は、いつも感謝の気持ちがありますね。先生の著書『私のマルクス』を読ませていただくと、素晴らしい先生方に出会われてきたそうで。

佐藤 中でも、中学1年の時に出会った塾の先生は印象深いですね。先生が勧めたギ・ド・モーパッサンの『首飾り』を読んでもと大変面白かったです。

越智 どのような点に惹かれたのでしょうか。

佐藤 人間の内面や社会の暗い側面をありのままに描く「自然主義」という考え方に惹かれました。人間の行動原理を解明するような表現が非常に興味深かったです。その後は、倉田百三や夏目漱石、遠藤周作など、堰を切ったようにどんどん本を読むようになりましたね。本好きのまま成長し、同志社大学に入学しました。

越智 大学進学を選ばれ、同志社大学に進まれたのはなぜでしょうか。

佐藤 読書の魅力を知って、知的好奇心が高まったこともあります。加えて、両親の影響もありました。第2次世界大戦時、父は陸軍航空隊員でした。隊員たちは、電波を

広島大学 学長

越智 光夫

Ochi Mitsuo



元外務省主任分析官
作家

佐藤 優氏

Sato Masaru



利用して情報を送受信する無線技術を身に付けていたため、能動的に情報を得られました。そのため、戦況を把握して自ら行動できたそうです。そこで、「高等教育さえ受けていれば、国家に頼らず自分で判断できる」と大学進学を後押しされ、同志社大学神学部を受験しました。

越智 大学卒業後は外交官や小説家として活躍されました。特に外交官時代には、逮捕もご経験されるなど壮絶な人生を歩んできました。よく乗り越えられましたね。

佐藤 その背景には、キリスト教の教えがあります。私が信仰する「カルバン主義」は、神の主権を強調するプロテスタントの一派です。私たちに起こる全ての現象は神の計画であり、人の実力では決められないという思想になります。「運命は生前から決まっている」という考えがあるので、私は困難に遭っても割り切れるのでしょうか。

越智 では、神学の面白さはどこにあるのでしょうか。

佐藤 神学を学んだ人が、神の教えや思いを形にしていくところにあります。神学では、想像上の神という存在が、イエス・キリストという人間としてこの世に現れる概念をインカーネーション(受肉)と呼びます。これは必ずしもキリストにだけ当てはまるものではなく、神的な思いが人間の行動に現れること全般を意味します。

越智 興味深い視点の考え方ですね。現代に置き換えると、どのような具体例があるのでしょうか。

佐藤 例えば学校の先生は、自分が偽善者のように思えてくるかもしれません。そうだとすると、「子どもや社会のため」と奉仕精神を見失わず、客観的に自分を見つめられることをインカーネーションと言います。

元外務省主任分析官
作家

佐藤 優 さとうまさる

東京都渋谷区出身。同志社大学神学部・大学院神学研究科修士課程修了。1985年に外務省入省。現在は作家として活躍しながら、同志社大学神学部をはじめとした大学で神学の講義をする。主な作品に『国家の裏』『自壊する帝国』がある。

広島大学 学長

越智 光夫 おちみつお

愛媛県今治市出身。広島大学医学部卒業後、整形外科に入局。1995年島根医科大学教授。2002年広島大学大学院医歯薬学総合研究科教授に就任。広島大学病院長を経て2015年から現職。2015年に紫綬褒章を受章。





事実・認識・評価 国際情勢を俯瞰して見る

越智 佐藤先生は作家としても活躍されていますが、ご関心の幅が非常に広いです。昨年11月には、第18回広島大学ホームカミングデーにもお越しいただきました。その際は、「西洋の道徳的危機に直面する今日の日本」というテーマでご講演いただきましたね。広島が果たしてきた平和教育発信の役割について触られました。

佐藤 その講演の動画を公開していただくと再生回数が大変伸び、ロシアやドイツからも反応がありましたよ。

越智 国際情勢についても言及されていました。佐藤先生はどのようにして国際情勢を見極めておられますか。

佐藤 事実、認識、評価。この3点を段階的に考えるようにしています。まず、事実とは、実際の状況を確定することを指します。次に、認識。事実に対して、当事者がどう見ているのかを掴むのです。例えば、ロシア・ウクライナ紛争であれば、ロシア/ウクライナが、紛争をそれぞれどのように捉えているのか、つまり当事者の「認識」を俯瞰の視点で理解します。最後に、自分自身が評価します。事実と当事者の認識を整理した上で、紛争に対する独自の考えを持つのです。

越智 相互の立場からの視点と認識は、国際情勢を見極めるための大切な考え方ですね。

学生たちが未来に生き残る道を示すため 大学を(静かな熱気)が顕在化する場に

越智 佐藤先生は現在、主に大学で教育者として活躍されています。日本の高等教育の現状について、どのようなご見解をお持ちでしょうか。

佐藤 理数系科目を高校の1、2年次から切り捨て私立大学の文系を目指す制度をはじめとし、学習指導要領に沿わない授業では大学での学びの土台を十分に築けません。この現状が日本の研究力低下の一因ではないでしょうか。

越智 世界の同分野・同年の論文で引用

国際情勢が厳しい中で、学生たちに託すしか、我々が生き残ることはない。

佐藤

数上位10%を「トップ10%論文」と呼びます。日本は昨年、過去最低の13位に下がりましたね。

佐藤 トップ層の論文を執筆する研究者は氷山の一角であり、彼らが台頭するためには氷山の下部にあたる厚い研究者層の存在が不可欠。文部科学省はトップ層のみに着目していますが、教育基盤から見直すべきでしょう。

越智 物事は表層のみでなく、深層にも思いを致すことが肝要ですね。今後、教育の果たす役割がますます重要になってきます。これからのお仕事についてはどのようにお考えですか。

佐藤 今は本当に教育が面白くてしょうがないので、その中で学生たちに何かを話したいですね。その点、広島大学の先生方は学生たちのために尽力してくださる教育のプロ集団です。かつ、多様な進路選択が可能な複線教育の伝統を有した唯一の大学ではないでしょうか。

越智 そうですね。1874年に前身校である白鳥学校が設置され、以降、多くの高等教育機関が統合して広島大学が誕生しました。

佐藤 その独自の生態系こそが魅力で、多くの学生に知ってほしいです。本日は、2017年度から始まった講義「世界に羽ばたく。教養の力」で、500人の新生生にそのお話をしました。パソコンやiPadを打つ手が止まり、じっと耳を傾けてくれました。静かな熱気を感じました。

越智 やはり、人と対話する時には相対する人の気持ちや情熱を「感じる」ことが大事です。相手のアクションに反応する。時には教育者と共鳴し合うような経験も必要です。

佐藤 その学長のお考えが、学生の静かな熱気としてインカーネーションしているのではないのでしょうか。

越智 ありがとうございます。では、広島大学をより学生にとって良い大学にするために、我々は今後何をすべきでしょうか。

佐藤 学生たちの学ぶ意欲、その潜在能力を顕在化させるべきです。この大学は、平和教育をはじめとした独自の活動や教育者の支援など素晴らしい環境です。私はソ連崩壊当時、国家の崩壊が国民に大きな不幸をもたらす様子を目の当たりにしました。だからこそ、日本社会を強くしてほしい。社会のために行動できる人になる方法は、今勉強しているこの広島大学から見えるはずですよ。

越智 そうですね。我々は今後も、学生にとって理想の大学を目指していきます。本日はありがとうございました。

H U TIME

旬なトピックを世界に届ける

広島大学とアイダホ大学、 半導体分野のグローバル 学士プログラム設置へ協定締結



read more



(左から) 越智学長、アイダホ大学スコット・グリーン学長、米国外務省ダニエル・アーンスト広報・文化交流担当公使

世界が注目する半導体分野で、次世代を担う人材育成が広島から本格的に始まります。2025年6月2日、広島大学と米国アイダホ大学は、グローバルな半導体人材を育成する学士課程プログラム「MESA(Microchips Engineering & Security Alliance)」の設置に関する協定を締結しました。工学分野における米国大学の日本校誘致、そして日米連携による半導体分野に特化した学士プログラム設置は、国内で初めての取り組みです。これを記念し、6月4日には東千田キャンパスで記念シンポジウムを開催。省庁関係者や企業、外国政府代表などが一堂に会し、新たな教育の可能性や国際連携の意義について語り合いました。会場・オンラインあわせて約90人が参加し、半導体分野の新しい人材育成の構想に多くの期待と関心が寄せられました。

世界を舞台に活躍する半導体人材を育成
アイダホ大学広島キャンパス、2026年始動へ

今回設置するアイダホ大学広島キャンパスでは、アイダホ大学によるMESAが開設され、4年間の全課程を英語で学びます。前半2年間は広島大学、後半2年間はアイダホ大学本校(米国)で学び、修了者にはアイダホ大学の学士号(Bachelor of Science Electrical Engineering)が授与されます。また入学者に対しては、国籍を問わず全ての学生へ授業料の減額を実施します。アイダホ大学は全米の研究大学として最高ランクである「カーネギーR1」の指定を受けた米国有数の総合研究大学です。両大学の交流は1951年、被爆からの復興を目指す広島大学にアイダホ大学が支援を寄せたことに始まり、近年の学術交流協定の締結等を通じてさらに深まってきました。現在、アイダホ大学広島キャンパスは「外国大学等の日本校」としての指定申請中で、2026年8月の学生の受け入れを目指しています。本プログラムは、急務となっている半導体人材の育成に寄与するだけでなく、広島から世界へ、教育と産業の未来をつなぐ力強い一歩となることでしょう。



HU MIRAI DESIGN

広島大学が描く、未来のカタチ

#2「伝える」



80年の記憶を 未来へつなぐ 知の力

情報があふれる現代社会において
本当に大切なことを「伝える」ことは
ますます難しく、
そして一層重要になっています。

2025年、被爆から80年という
節目を迎える広島。

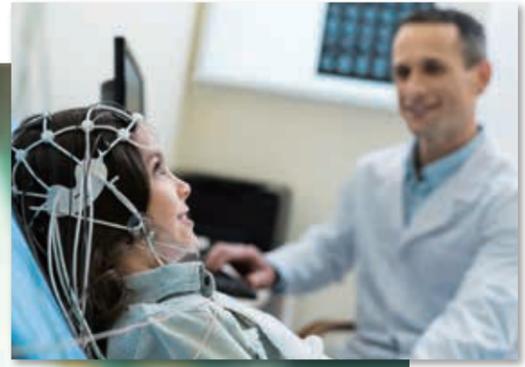
人類が忘れてはならない記憶を、
どのようにして未来へ
つなげていくべきなのでしょうか。
広島の地で培われた知の実践から
そのヒントや未来を探ります。

次世代を担う子どもたちへ。
同じ地球に生きる世界中の人々へ。
時間・空間・世代を超えて「伝える」ことで
私たちはきっと
平和という未来を築けるはずです。

特集

広島大学が描く、未来のカタチ

”体験“の記憶を 心に刻み 未来へと伝える



被爆の「記憶」を次世代に伝えるために、
どんな工夫ができるのでしょうか。
視覚や聴覚などの感覚器官や
言語などの手段を切り口に
記憶を未来に伝えるヒントを探ります。



★★★★
**言葉と五感を結び付け
より深く、印象的に
記憶を残す**



神原 利宗 准教授 大学院人間社会科学研究科 専門:心理学

私は、音声や文字などの言語情報と、感覚、運動、感情などの非言語情報がどのように結び付いているのかを研究しています。文字と感情の結び付きを例に挙げると「楽しい」などのポジティブな単語と「ぬお」などの無意味な単語を繰り返し提示すると、無意味な単語をポジティブに感じるようになることが分かっています。こうした研究を発展させることで、トラウマと

なる言葉への反応を緩和させるなど、言葉の力で感情をコントロールする方法を確立できるかもしれません。他にも、発語によって身体の動作をしやすくする方法など、言語情報の幅広い可能性を探っていきます。
被爆の記憶を次世代に伝える取り組みにも、言語情報と非言語情報の融合を生かせると考えます。実際に被爆された方の語りには、当事者しか持ち得

ない経験や感情の重みが含まれていません。その生の声と感情を結び付けた形で伝える方法を開発できれば、より効果的に語り手の想いが伝わるでしょう。例えば、音や臭いで焼け野原の情景を再現した空間でその語りを体験すれば、単なる「言葉」よりも「記憶」として深く受け取ることができるはず。言葉の力で平和に貢献できるよう、これからも日々の研究に取り組んでいきます。



★★★★
**視覚のメカニズムを解明し
的確に、心に残る形で
情報を伝える**



吉本 早苗 助教 大学院人間社会科学研究科 専門:心理学

私たちは網膜にある視細胞で外界の光を捉え、その刺激を脳内で処理することで「見る」という経験をします。明るい場所と暗い場所では機能する視細胞や神経経路が異なることが知られています。特に、薄暗い環境では両方のシステムが同時に機能するため、視覚が特異的に変容します。夕暮れ時に交通事故が多いのは、日中とは見え方が異なり、とっさの判断が遅れてしまうことが一因と考えられます。こうした現象の詳しいメカニズムは解明されてい

ません。そこで私は脳活動計測や数理的モデリングなどを組み合わせ、まだ明らかになっていない視覚の全容を解き明かす研究に取り組んでいます。
他者に対してより効果的に情報を伝えるためには「体験として心に残る形で伝える」ことが重要だと考えます。単に「目に入る」だけでなく「見た」と認識されるためには、注意を向け、意味付けるプロセスが欠かせません。被爆の記憶を次世代に伝えていくためには、受け手が自分の経験として追体験できる伝え方の工夫が求められます。近年進化を遂げるVR(仮想現実)やAR(拡張現実)などの技術の活用も効果的です。そのほか、人がどのような視覚情報に注意を向けやすいのかを明らかにするなど、私も視覚研究を通じて記憶の伝承に貢献していきたいと考えます。



VRを利用し、3次元空間内で視覚に基づくパフォーマンスを測定

特集 広島大学が描く、未来のカたち

TO The Public



久保田 明子 特命准教授
原爆放射線医学研究所
専門：アーカイブズ学



被爆資料のアーカイブズを通じて 継承のかたちを問い直す

「記憶を守り、伝える」ことを専門とするアーカイブズ学の立場から、原爆に関する医学記録や、放射線による健康被害に関連する研究データの保存、活用に取り組んでいます。アーカイブズとは、貴重な資料を長く後世に伝えるための営みであり、未来の私たちに大きな影響を与えます。例えば、将来もし「原爆は存在しなかった」という主張が広まったとしても、それに立ち向かった医師たちの記録を提示し、誤りを正すことができます。また、戦争や原発事故が起こった時、薬の開発や緊急被ばく医療体制の検討などにも役立つでしょう。

近年、被爆者の高齢化が進み、「被爆や戦争の経験を継承しなければならない」という声が高まっています。しかし、私はその性急な流れに不安も感

じています。都合の良いエピソードを切り取り、伝える側が自己流の解釈をしていないか。AIなどの技術を使って大量のデータを処理する中で、被爆者一人一人の人生を見落としていないか。被爆80年を迎えた今こそ「原爆を起点として平和を考える」という原点に立ち返って問い直す必要があると感じています。

私は資料の展示にも注力しています。心掛けているのは、主張を押し付けず、見る人それぞれの感じ方を尊重すること。例えば、赤ちゃんの医療記録を展示した際、ある女性記者は涙を浮かべました。一方、ある医師は資料の所見を読み解いて、当時の医療技術に関する考察を語ってくれました。どちらもその人にとって正しい受け止め方であり、一つの資料を多角的に見る自由を大切にしたいと思っています。そして私には、将来広島に「原爆アーカイブズ」を作るとい夢があります。原爆を風化させないために、資料の保存と展示を立体的・複合的に実現する拠点を広島に築きたいと願っています。

被爆80年
広島大学原爆放射線医学研究所
長崎大学原爆放射線医学研究所
共同特別企画

【開催】被爆80年 被爆者医療・原爆医学研究の歴史を振り返る
原爆は多くの勇敢な人々を生み出し、戦後の日本の復興に大きく貢献した。その一方で、広島と長崎に原爆が落とされた。広島大学原爆放射線医学研究所は、被爆者の健康被害を調査し、治療に努めた。長崎大学原爆放射線医学研究所は、被爆者の健康被害を調査し、治療に努めた。両大学は、被爆者の健康被害を調査し、治療に努めた。両大学は、被爆者の健康被害を調査し、治療に努めた。

2025年度 企画展示

グビロが丘の祈り、フェニックスの誓い

—被爆の医学を追い求めたヒロシマヒナガサキの80年—

7/14(月) 13:00-17:00
7/15(火) 8/9(土) 10:00-16:00
10/2(水) 10/4(土) 10:00-16:00

被爆80年
広島大学原爆放射線医学研究所
長崎大学原爆放射線医学研究所
共同特別企画

【開催】被爆80年 被爆者医療・原爆医学研究の歴史を振り返る
原爆は多くの勇敢な人々を生み出し、戦後の日本の復興に大きく貢献した。その一方で、広島と長崎に原爆が落とされた。広島大学原爆放射線医学研究所は、被爆者の健康被害を調査し、治療に努めた。長崎大学原爆放射線医学研究所は、被爆者の健康被害を調査し、治療に努めた。両大学は、被爆者の健康被害を調査し、治療に努めた。両大学は、被爆者の健康被害を調査し、治療に努めた。

2025年度 企画展示

グビロが丘の祈り、フェニックスの誓い

—被爆の医学を追い求めたヒロシマヒナガサキの80年—

10/14(火) 12/25(木) 10:00-16:00
10/23(水) 10/26(日) 10:00-16:00
10/26(日) 9:00-12:00
11/1(土) 11/5(水) 10:00-16:00

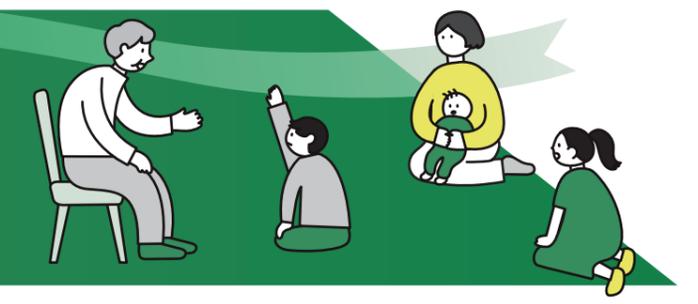
被爆80年を機に、長崎大学と共同で企画展示を行います。両大学で継承されてきた被爆医療・原爆医学研究の一端をぜひご覧ください

被爆者スライド標本データベース

広島大学が所有する被爆者のスライド標本を最新技術によりデジタル化したデータベース。被爆の実態を伝えることを目的としており、誰でも検索・閲覧ができます。

時空を超えて、あらゆる人々に伝えたい 研究者が見つめる「伝える」のその先

研究者たちは、世代や国境、時代さえも越えて「伝える」の本質を追究し続けています。言葉や記録だけでなく、そこに宿る想いまでをいかにして伝えていくのか、その手がかりについて聞きました。



TO The Future

碑文のように刻まれた記憶を 伝承者と聞き手の対話で次世代につなぐ

古代ギリシア人やローマ人は石板に文字を刻み、神殿や広場などに設置することで情報を共有していました。碑文は時を経ても腐らず残り続け、それを書いた者の名を示し、現代においても語られる対象になります。ただ、私たちが理解しなければならないのは、定まった情報であっても100%正確に意味を受け取るのは不可能だということです。なぜなら伝える側が全てを正確に表現できるとは限らず、聞き手も自由に解釈してしまうからです。

今年、広島は被爆80年という大きな節目を迎えます。今後被爆者がその経験を語り、伝えることができなくなっても、別の形で引き継がれていくでしょう。そうした過去の記録を他者に伝える際、私たちは「情報を完全に伝えることは不可能」と認識しなければなりません。伝承者の伝え方や聞き手の解釈には限界があることを知っておくのです。戦争を経験していない私たちが次の世代に歴史を伝えていくには、互いに寄り添い、対話する姿勢が求められます。



レバノンの世界遺産
アルバスサイトの戦車競技場



前野 弘志 教授
大学院人間社会科学研究所
専門：史学

TO The World

対話を通じて文化や立場の壁を越え、異なる背景を持つ他者と共に未来を考える

教育の視点から、さまざまな背景を持つ人々が文化や立場の違いを越えて語り合い、共に生きる関係を築くための研究に取り組んでいます。例えば、「より良いヒロシマ教科書づくり」プロジェクトでは、日米の子どもたちや日韓の学生たちが原爆の記述をもとに話し合い、互いに「より良い広島教科書」を提案しながら、平和の意味を共に考えてきました。戦争や原爆に対する捉え方は国によって異なります。だからこそ、意見の違いを否定したり、無理に一致させようとするのではなく、相手を「語り合える相手」として受けとめるとき、そこに共に生きるための出発点が生まれるのです。

被爆から80年を迎えるいま、ヒロシマを語ることは、過去を伝えるだけでなく、未来を共に考える営みでもあります。文化や立場の違いに配慮しながら、相手が心を開き、一緒に考えてくれるような語り方を探ること。それぞれが、本当の「伝える」であり、平和を築くための土台になると信じています。

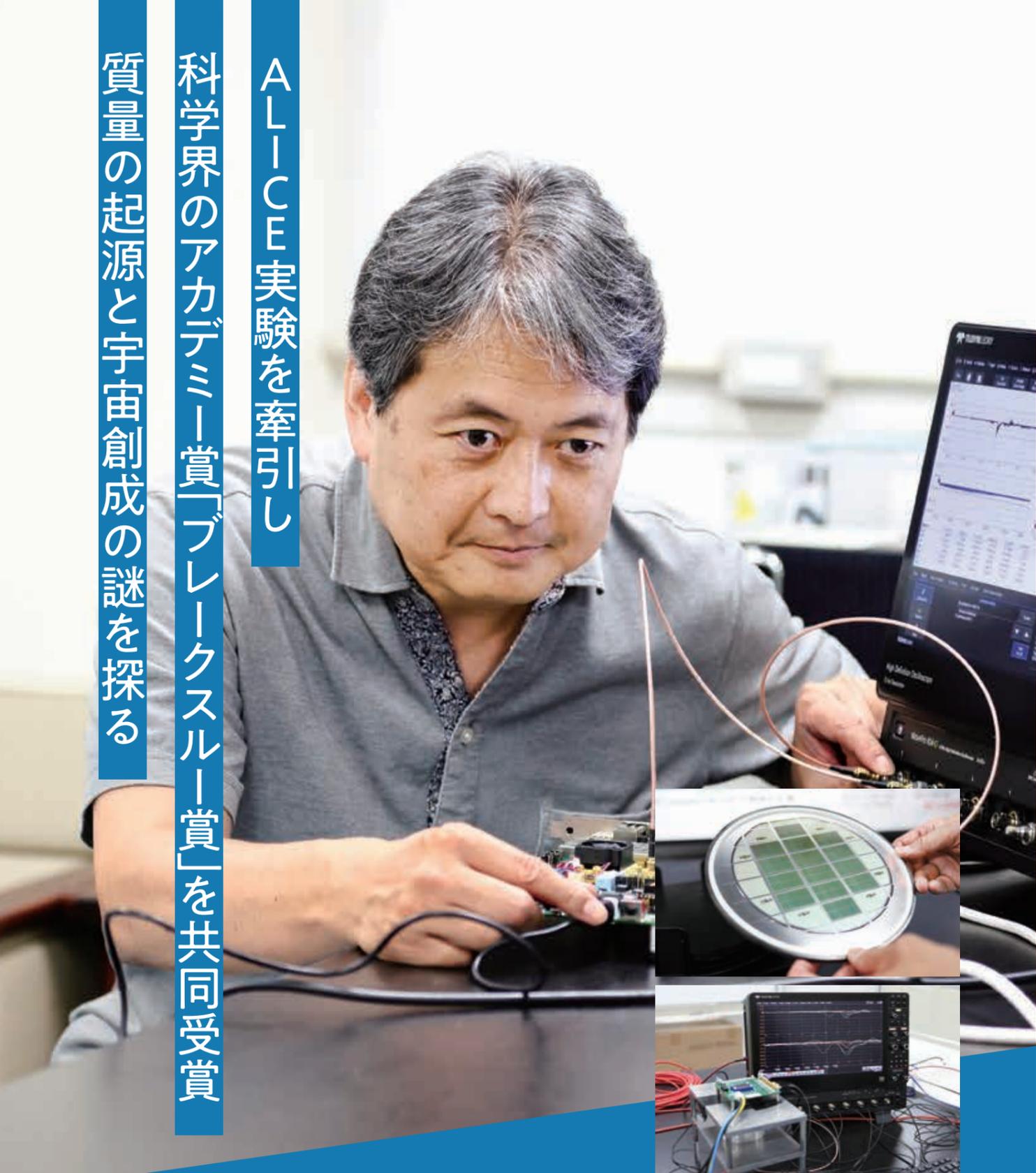


日米の子どもたちが教科書について語り合う



金 鍾成 准教授
大学院人間社会科学研究所
専門：社会科学、教育学

ALICE実験を牽引し
科学界のアカデミー賞「ブレイクスルー賞」を共同受賞
質量の起源と宇宙創成の謎を探る



理論を実験的に検証し
宇宙の始まりを解き明かす

2025年、自然科学分野の国際的な学術賞「ブレイクスルー賞」の基礎物理学部門の共同受賞者の中に、大学院先進理工系科学研究科の志垣賢太教授が名を連ねた。共同受賞したのは、欧州合同原子核研究機構(CERN)の大型ハドロン衝突型加速器(LHC)を用いて国際共同実験に取り組む4チーム。そのうちの1つが、志垣教授らが牽引する「ALICE実験」だ。

「ALICE実験」は、原子核同士を超高速で衝突させ、宇宙誕生直後の極限状態を人工的に再現する試みである。この宇宙の始まりや物質の本質を理解するために、通常地球上では存在しない高温・高密度の環境下で自然法則がどのように作用するかを調べる。志垣教授は、「物の重さの起源」を解明すべく、前方ミュオン粒子飛跡検出器(MFT)という新しい装置をフランスなどと共同で開発。CERNに導入し、運用をリードした。これにより、高エネルギー原子核衝突点に限りなく近いところで生成される素粒子の挙動を高精度で測定する

ことが可能となった。取得したデータの解析、シミュレーション計算を広島大学で行うなど、志垣教授は実験現場の運営、検出器の開発、国際共同研究における意思決定にも貢献。実験データから新たな物理現象を引き出してきた。こうした成果がブレイクスルー賞受賞につながった。

物理学には「物質や素粒子がどのように質量を持つのか」について説明する理論がある。これを実験的に検証するのが志垣教授の研究で、現在は新しい装置の開発にも取り組んでいる。2030年代には、原子核同士をぶつけて素粒子を解放するのではなく、「原子核の中を見る」という新しいアプローチを行うと、志垣教授は意気込む。

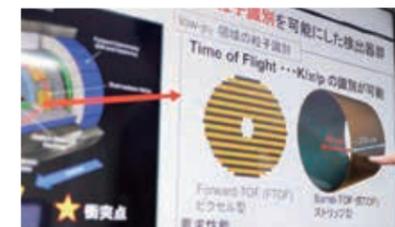
オープンマインドで
国際共同研究チームを育てる

志垣教授にとって大きな成果といえば、米国ブルックヘブン国立研究所で研究を進めていた2000年代にさかのぼる。原子核同士の衝突により「素粒子のクォークとグルーオンが自由に動き回る超高温スープ※」を世界で初めて人

工的に作り出すことに成功したのである。さらに、陽子などから解放された素粒子が、従来想定されていたガスのような気体状ではなく、液体に近い流体的な性質を持つことを明らかにした。

国内外の組織や研究者と協働し、数々の研究成果を上げてきた志垣教授。彼の座右の銘は「It is nice to be important, but it is more important to be nice.」偉大な投資家として歴史に名を刻んだジョン・テンプレトンが、重要な人であることよりも親切な人であることの大切さを説いた言葉だ。

「圧倒的なリーダーシップを発揮してチームを引っ張るリーダーもいますが、私はチームの空気を作る人でありたいと思っています」。人の考えを尊重する謙虚さとオープンマインド、そして思いやりがあれば、自然と人が集まり、良いチームが生まれる。創造的な成果につながる大切な過程だと語る。



※クォークとグルーオンという2種類の素粒子が混ざり合い、互いに自由に動き回る超高温のプラズマ状態



大学院先進理工系科学研究科 教授・WPI-SKCM² 主任研究者

志垣 賢太

しがき・けんた／1990年東京大学理学部物理学科卒業。同大学大学院で物理学を専攻。1995年博士(理学)取得。米国ブルックヘブン国立研究所、東京大学、高エネルギー加速器研究機構、日本原子力研究所(現日本原子力研究開発機構)で、研究員を歴任。2003年に広島大学大学院理学研究科物理学専攻助教授に就任。准教授を経て2019年に教授。2022年から広島大学 WPI-SKCM²主任研究者を兼務。

志垣先生の息抜きは？

ほっと一息 Break time

もともと、何かに手間暇をかけて世話をすることが好きで、バラに興味を持った。きっかけは、今から10年ほど前に、国際会議で訪れたフランスの街並み。色とりどりのバラで美しく彩られる光景に心を奪われた。以来、自分の手でバラを育てている。また、認定店舗でさまざまな艦艇のカレーを食べ比べする呉の海自カレー巡りも楽しい。



わたしが ざゆう めい
研究者人生を導く 私の座右の銘

最先端の研究に挑み続ける研究者たち。困難に直面した時や決断を迫られた時、そして成功の瞬間に彼らを導いてきた言葉とは何か。日本科学技術ジャーナリスト会議に所属するライターが、「座右の銘」から研究者の人となりを紐解きます。

座右の銘

It is nice to be important, but it is more important to be nice.

(重要な人間になるのは素晴らしいことだが、親切であることがもっと大切だ。)

HU PRISM

広島大学は、さまざまな形で社会とつながっています。
プリズムが光を分散させるように、
多角的な視点からその取り組みを映し出します。

「音楽で紡ぐ平和の祈り」
被爆80年記念事業 平和チャリティコンサートを開催



EVENT

学内外で行われたイベントを
ご紹介します。

2025年8月5日、東広島キャンパス内サタケメモリアルホールで、「被爆80年記念事業 平和チャリティコンサート」が開催されました。広島への原爆投下から80年。この節目に「平和への願いを音楽で発信する」ことを目的に企画された本コンサートは、広島大学の理念に根ざし、祈りを次世代へとつなぐ意義深い催しとなりました。

第1部では、大学院人間社会科学研究科音楽文化教育学領域・教育学部第四類音楽教育学プログラムの教員・学生・卒業生が出演。S.パーバーの「アニユス・デイ」やO.メシアンの「世の終わりのための四重奏曲」といった、平和にちなんだ楽曲が披露され、演奏に込められた想いが会場全体を包み込みました。続く第2部では、世界的オペラ歌手・中丸三千繪氏とピアニスト・安達朋博氏によ

るステージが繰り広げられました。中丸氏は本学の客員教授として声楽の公開授業や講義に携わり、学生や教員との協働を重ねてこられたことから、今回の出演が実現しました。安達氏との息の合った演奏は、G.F.ヘンデルの「オンブラ・マイ・フ」やG.プッチーニの「歌に生き、愛に生き」といった珠玉のアリアを通じて、聴衆に深い感動をもたらしました。

コンサートの収益は、世界の次世代リーダーを広島平和記念式典に招聘するために活用。被爆の地で祈り、考え、語り合う経験が、未来の平和の礎となることが期待されます。「音楽で紡ぐ平和の祈り」。平和の尊さを改めて心に刻む、かけがえのない時間となりました。



学内外で行われたイベントを
ご紹介します。



医療の歩みを未来へ—— 広島大学医学部 創立80周年記念事業を実施

2025年、広島大学医学部は創立80周年の節目を迎えました。被爆地・広島医療と共に歩んできた歴史を振り返り、未来への決意を新たにすため、さまざまな記念事業が展開されました。

その一つが、戦時中に疎開先となった広島県安芸高田市の浄土真宗高林坊に2024年10月に建立された「疎開之地記念碑」です。原爆投下の前日、1945年8月5日、広島県立医学専門学校(医学部の前身)は開校式を終えた直後に高林坊へ疎開。奇跡的に教職員や学生約120人が被災を免れました。記念碑には、本堂での授業の様子を描いた「空腹と葛藤しながら受ける授業」の陶板を埋め込み、当時の苦難と学びへの強い意志を伝えています。

6月15日には、同じく創立70周年を迎えた医学部医学科の同窓会組織である広仁会と合同でリーガロイヤルホテル広島にて記念講演会・祝賀会を開催。越智光夫学

長のあいさつに続き、岸田文雄前内閣総理大臣と、本学卒業生でノンフィクション作家の堀川恵子氏が講演しました。堀川氏は、広島の歴史を踏まえつつ、平和な社会を土台とした医療の大切さを訴えました。日本原水爆被害者団体協議会のノーベル平和賞受賞を祝うセレモニーも開かれ、平和と医療の結びつきを改めて確認する場となりました。そのほか記念事業として、パンフレットとWEBサイトを制作。医学部の歩みや地域貢献の様子を、一般の方々にも分かりやすく紹介しています。

現在、霞キャンパスでは2026年度の放射線影響研究所の比治山からの移転や、2027年度稼働予定の「ワクチン・医薬品製造拠点」の整備が計画されており、100周年に向けた新たな挑戦が始まっています。「世界に選ばれ、地域に愛される大学」を目指し、広島大学医学部は医療の未来を切り拓いていきます。



高林坊に建立された「疎開之地記念碑」と歴代学長、医学部関係者ら



80周年記念WEBサイトはこちら
(<https://med80th.hiroshima-u.ac.jp/>)



学内の組織・センターなどを
ご紹介します。



最先端技術によるものづくりの推進を目的に設立された「デジタルものづくり教育研究センター」。マツダを中心とする産業界・広島県・広島大学の三者が協働し、産官学連携事業を展開しています。

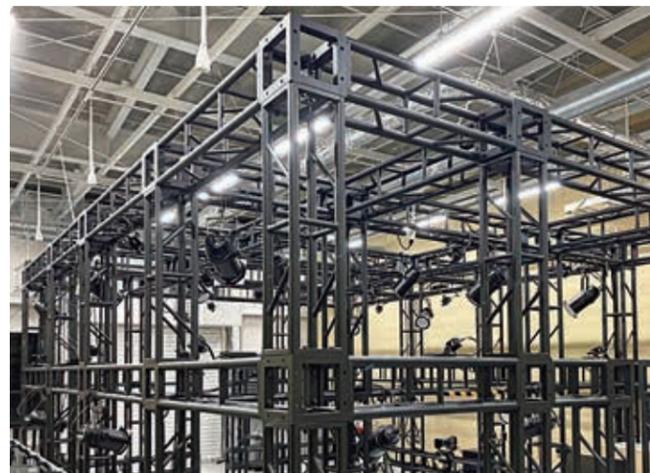
2024年には東広島市のサイエンスパーク地区に「広島大学デジタルものづくりイノベーション拠点」を開設しました。この拠点で、独自の視点からEV(電気自動車)の快適性向上に取り組んでいるのが、西川一男特任教授です。カーボンニュートラルの実現には、EVの技術開発が不可欠。EV開発の課題の一つである空調機器の高度化を進めるため、西川特任教授が注目しているのは「感性」です。単に空調のエネルギー消費を抑えるのではなく、人が「快適」と感じる瞬間を科学で解き明かし、省エネと快適さを両立させることを目指しています。例えば、セン

ターに設置されている大型恒温恒湿槽の中に車両をそのまま設置し、車内の温度変化と人の感じ方の関係を実証実験を通じて研究。技術と感性の融合に挑んでいます。

また、世界でも珍しい「高速カメラスタジオ」も拠点の特徴の一つです。この設備を用いてスマート検査・モニタリング技術の開発を進めているのが石井抱教授です。人間の目では捉えることのできない微細な振動を超高速カメラで撮影し、それを映像上に分かりやすく表示することで「振動の見える化」を実現。ものづくり現場をはじめ、医療、バイオ、スポーツ、マルチメディアなど、幅広い分野への応用が期待されています。こうした高度な研究機器のほか、拠点にはホール、会議室なども備えられています。大学関係者はもちろん、企業の皆さまにも広く活用いただける施設です。



EV開発用大型恒温恒湿槽



世界で唯一大学内に設置されている高速カメラスタジオ

デジタルものづくり教育研究センターの
活動をもっと知る >



広島大学発のスタートアップ企業取材。
創業理念や事業展開について伺いました。



情報化が進む社会を 「素材の力」で支え、さらなる未来へ

株式会社マテリアルゲート 代表取締役社長兼CEO
(広島県東広島市鏡山)
中野 佑紀 さん

株式会社マテリアルゲートは、広島大学発のスタートアップ企業です。理学部在籍中からの恩師である西原禎文教授と私が2023年に共同で設立しました。「単分子誘電体」という革新的なメモリ材料を製造・販売する素材メーカーであると同時に、その材料を応用したデバイスに関わる技術も提供しています。

AIやビッグデータの分析などが発展し続けている現代社会。コンピュータは日々膨大なデータを処理しており、それに伴って増加する消費電力が大きな社会課題となっています。その課題を解決する力を持つのが「単分子誘電体」です。これを半導体メモリに用いることで、メモリ密度を約1000倍にすることが期待できます。消費電力も約90%削減されるため、より多くのデータ保存と省エネが可能に。世界で初めて開発されたこの素材を実用化し、科学技術を支える土台として貢献することを目指しています。

半導体産業は、品質管理の厳しさから新しい技術が導入されにくいという傾向にあります。また、既存の大企

業にとって、大学発の基礎研究の実装開発は高リスクであり、着手しづらい環境です。そんな状況の中で、画期的な新素材を実用化するチャンスを逃したくないと考え起業を決意しました。

起業して強く感じたのは、自分を信じることの大切さ。アドバイスを全て取り入れると事業の軸がずれ、結局何をしたいのかが伝わらなくなります。最後には自分を信じて行動するというのが私の教訓です。起業にはリスクが伴いますが、それ以上に大きなやりがいを得られます。将来的には日本の素材業界や科学技術の分野を盛り上げる企業へと成長していきたいです。

株式会社マテリアルゲートへのお問い合わせはこちら >



これが私の人生の転機

大学在学中には西原教授の研究室に所属。ここで教授や研究室の仲間たちに出会ったことが、想像もしていなかった起業の道を拓いてくれました。アカデミックな研究をビジネスとして展開する難しさやリスクはもちろんありますが、新しい素材で新規事業を作ることは魅力的でやりがいを感じています。



WE ARE FROM HIRODAI

私も広大です

広島大学を卒業・修了後、各業界で活躍されている卒業生の方々に、現在のお仕事と大学時代を語っていただきました。



「広い世界を見てみたい」
大学での挑戦を糧に、グローバルなキャリアへ

教育学部出身

福本 千秋さん
リンツ&シュプルングリー
ジャパン株式会社
代表取締役社長

ふくもと・ちあき / 広島県出身。1991年広島大学教育学部を卒業後、P&Gジャパンを皮切りに、ロレアルグループや外資系小売企業で幅広い分野で経験を積み、2021年モンテリーズ・ジャパンの代表取締役社長に就任。2022年より現職。

【心に響いた人生の名言】
「この世界にも良い人とそうでない人がいる。大切なのはどちらから影響を受け、道を選ぶかだ」—— 留学前の壮行会で外国人の先生からいただいた言葉です。いろいろな人がいるのは海外でも日本でも同じ。本質を見なさいと、初めての海外で不安だった私を勇気づけてくださいました。

教員志望から企業人へ 留学で開けた視野とキャリア

私が代表を務めるリンツ&シュプルングリージャパンは、スイス発祥のプレミアムチョコレートブランドです。「チョコレートで世界を魅了する」というミッションのもと、直営店を中心に、日本のお客様に「ご褒美」のようなひとときを提供しています。

2022年に社長に就任するまでに、P&Gやロレアルなどグローバル企業でキャリアを積んできました。もともと教員を目指して教育学部に進学した私にとって、転機となったのが在学中のアメ

リカ留学。留学で出会った人々の影響で視野が広がり、企業というフィールドで自分を試したいと思うようになりました。多様な文化や考え方に積極的に触れることは、自分の視野を大きく広げます。在学生の皆さんも、好奇心を持ってさまざまな価値観に触れてみてください。

感謝の気持ちで 会社の成長を支える

幼い頃から英語に親しむ環境にあり、広い世界を見てみたいという思いから、入学後すぐに文部科学省の国費留学プログラムに挑戦することを決

意。準備の過程では、時間を惜しまず英語指導をくださった恩師の存在が大きな支えでした。一学生のためにそこまでくださることに、今振り返っても胸が熱くなります。

大学の恩師や、これまで育てていただいた会社の上司に感謝すると同時に、その恩を社員に還元していきたいと感じています。そのために、制度面の整備や運用を推進しながら、働きやすい職場環境や個人のポテンシャルをいかに発揮できる環境を提供する。社員と共に会社も成長していく。そんな好循環を創り出していきます。

WE ARE FROM HIRODAI

楽しさを原動力にして 地域と歩む百貨店を目指す

創業90周年を迎える北九州市の百貨店、井筒屋の代表を務めています。出身地・大分県からも近く、華やかなイメージに惹かれ、百貨店業界に飛び込みました。最初に配属されたのは食品部門。以後ほとんどのキャリアをこの分野で重ねてきました。「食」は誰にとっても身近で、お客様の数も多く、工夫した販売企画がすぐに売上として返ってくるのが魅力でした。私は、自分が良いと思うものを仕入れ、工夫して販売し、「良かった」「おいしかった」といった声をいただける——その一連の流れに、小売業のやりがいや楽しさがあるのではないかと

考えています。そのため、井筒屋では社員が自分の裁量でプロデュースできる売り場を広く設けています。それが社員のモチベーションの向上や、井筒屋らしい売り場づくりにつながるのです。

現在は、地域企業と協力し、北九州の技術力を生かしたBtoC商品の開発にも力を入れています。地域のものづくりを支え、北九州を百貨店の立場から元気にしていきたい。そうした志のもと、日々邁進しています。

多様な経験を重ねながら 将来への感覚を養った学生時代

広島大学時代は東千田キャンパスで過ごし、授業のない時間は、コンビニや代行運転、飲食店の皿洗いなど、多くの

アルバイトに励みました。アルバイトとはいえ、対価を得る以上、一定の責任があり、そういった経験を通じて社会の仕組みを少しずつ学ぶようになりました。今思えば、それが社会を知る土台になっていたのだと思います。社会に出ると、理想と現実のギャップに戸惑うこともあります。私自身、華やかな世界を想像して飛び込んだ百貨店業界で、まずは現場の厳しさに直面しましたが、続けるうちにやりがいや面白さが見えてきました。在学生の皆さんには、学業のみならず、アルバイトや旅などさまざまな経験をしてほしいと思います。その一つひとつが、自己を深め将来を形作る礎となるはずです。

現場で学び、地域と挑む百貨店経営

広島大学での日々が社会を見る視座を育ててくれた

広大のここがええね！

産官学の連携は社会の発展に不可欠であり、井筒屋も地域の大学と協力を進めています。広島大学が地域や企業と手をとり合い、世界を見据えて挑戦する姿勢には大いに共感しています。

経済学部出身

松本 圭さん
株式会社井筒屋
代表取締役社長

まつもと・けい / 大分県出身。1991年広島大学経済学部卒業。同年、株式会社井筒屋に入社。山口井筒屋社長、執行役員本店長などを経て、2025年より代表取締役社長を務める。



Focus on!



人から深掘るHU

勉強や課外活動などに励む広島大学の学生たち。
個性あふれるキャンパスライフを深掘りし、リアルな姿をお届けします。

パシャっと!
Campus snap



幅広い文献がそろった震図図書館。本棚を眺めるだけでワクワクします。



大学病院の屋上にある庭園は空に近く、季節を感じられる素敵な場所です。

高精度のデータ分析で農業の未来を切り拓く!

HOSSAIN MD AMZADさん

ホサイン モハンマド アムザット
大学院スマートソサイエティ
実践科学研究院 博士課程前期2年
出身国：バングラデシュ



パシャっと!
Campus snap



学生交流の場となる学生プラザ。さまざまなイベントが開催されているところが魅力です。 疲れたときは西さくら道を歩き、自然に囲まれリラックスします。

新たな支援体制を社会に届ける!



まつだ ひなこ 松田 ウェンディ日向子さん

大学院医系科学研究科博士課程前期2年
総合健康科学専攻保健科学プログラム

国際会議で最優秀論文賞を受賞！持続可能な農村経済を目指して

農業イノベーション（先端技術で農業を効率化・高度化する取り組み）が社会に与える影響について研究しています。研究をより深めるため、科学技術において高い評価を得ている日本を留学先として選びました。

現在はバングラデシュの遺伝子組み換えナスの栽培が地域経済に及ぼす影響に

焦点を当て研究を進めています。バングラデシュ・パプナ県の農村地域でフィールド調査をし、農家の所得、作物の収量、農業使用量について厳密な統計手法を用いて分析。得られたデータをもとに、遺伝子組み換えナスの栽培が生産性や経済に与える影響を詳細に読み解きました。その結果、農家の所得の向上、収量の大幅な増加、農業使用量の削減につながる事が明らかに。農業イノベーションが環境・経済の両面でプラスに作用する可能性を示し、持続可能で費用対効果の

高い農業の実現に寄与する研究となりました。この研究が評価され、2025年 NERPS 国際会議にて最優秀論文賞を受賞。今までの努力が実を結び、今後の研究活動に向けた大きな活力を得ることができました。今後は研究を通して持続可能な農村の開発促進に貢献したいです。また、将来的には国際機関と連携し、研究成果を応用した農村経済の回復に努めたいと考えています。

障害当事者が働きやすい職場づくり 共につくる支援のかたち

私が推進する「障害者雇用定着支援プログラム」は、障害当事者の雇用率の低さに課題を感じて始めたプロジェクトです。研究者、障害当事者、企業の3者がワンチームとなって職場での働きづらさを見つけ、共に解決策を考えます。障害当事者を含む研究チームが企業に派遣され、職場の文化や人間関係の構

築プロセスに深く関与しながら、制度を共につくるプログラムになっています。SDGs 達成のためのアイデアを募る「大学 SDGs ACTION! AWARDS2025」ではこのプロジェクトが評価され、スタディツアー賞を受賞しました。「私の職場でも必要な制度」という講評は大変励みになりました。現在、NTT グループとの連携が進んでおり、職場での障害当事者の定着に関する聞き取りを進行中。もっと多くの企業や職場とつなげ、支援の輪を広げたいと考えています。

学部時代は美術大学で建築を学び、学外でロボット開発も経験。人に合わせて空間をデザインする姿勢や、一人一人の思いを形にする技術の力を学ぶ中で、「誰かの思いに寄り添い、最適なかたちを一緒に考えること」に魅力を感じました。現在は、それらを医療現場に生かし、認定遺伝カウンセラーを目指しています。研究と現場実習を通じ、患者さんと共に診断結果への向き合い方を考えることにやりがいを感じています。

使ってる？

生成 AI

おすすめの使い方を調査してみた



私たちの生活に浸透しつつある生成AI。多様なツールが登場する中、
 広大生はどのツールをどんな場面で活用しているのでしょうか？

私が使っているのは

コード

Claude Code

文字入力による命令を理解し、コンピュータが実行できる形に変換する作業をサポートしてくれる、プログラミング用のAIツール。

アプリ開発を通じて産学連携を支援する株式会社watousを起業し、代表を務めています。開発や研究に必要な命令文を作成する際には、Claude Codeをはじめとした生成AIを活用します。私の場合は自分のやりたいことをできるだけ具体的に言語化し、背景情報や制約条件も丁寧に指令文に盛り込むように工夫してきました。そうすることでClaude Codeが文脈を正確に理解し、目的に沿ったコードを出力してくれていると実感しています。

このように作業を自動化すると、考える負担が減ります。そこで生まれた時間を、友人や開発仲間とのディスカッションにあてられるようになりました。結果、アイデアをより深める機会を得られています。

やまだ かずき
山田 和輝さん
 医学部医学科6年

Claude Codeを使えば、
 コンピュータへの指令
 (コマンド)を
 簡単に作成可能！



アプリ開発のための
 コード作成を
 手伝ってくれる相棒

サークル資料の作成に活用 使いこなすには具体的指示が鍵

広島市の平和記念公園でツアーガイドを行うサークル「Peace Active Leaders」で代表を務めています。企画書の作成やガイド中のゲームに使う、英単語のリストの作成に便利なのがChatGPTです。

生成AIは曖昧な指示を出すと欲しい回答が返って来ないため、事前に指示内容を明確にしてから、具体的な質問を設定するように工夫しています。例えば、英単語リストを作成する時に「難易度別に」と問うのではなく、「小学生・中学生・高校生の習熟度別に」と明確に問うことで、的確な回答が得られます。明確な指示を心掛けることで活動の質も向上し、より伝わるガイドづくりに役立っています。



ChatGPTは
 スマートフォンで簡単に
 利用できるのが強み！

みずたに みき
水谷 美樹さん
 法学部2年



私たちが使っているのは

チャット

ChatGPT

人と会話をしているかのような自然な文章で質問に回答してくれるAIチャットボット。テキストの生成から翻訳、要約まで幅広いタスクに対応している。

勉強も日常生活も
 自分の考えを検証し
 見直すために活用！

大学受験の小論文対策として、時事ニュースを知るために初めて生成AIを活用しました。現在は、大学生活でもプライベートでも「自分の考えを検証する相談相手」としてChatGPTを活用しています。授業では発表の準備段階で、自分の考えに矛盾点や抜けがないかを確認してもらっています。ただし、あくまで試行錯誤を助けるツールなので、最終的には自分の言葉で語ることを大切にしています。また、プライベートでも、睡眠や運動など生活習慣を見直す際に助言をもらうなど、日々、より良く過ごせるように活用してきました。ChatGPTへの指示には「大学の授業で発表する予定で」など、目的を添えるようにしています。さらに、回答に典拠を付けるよう指示すれば、情報に誤りがないかを確認する際に便利です。

なかしま ゆうの
中島 優野さん
 総合科学部
 総合科学科2年



自身で考えるための
 補助ツールとして
 活用するという中島さん



HUTOPICS

全12学部・5大学院から
注目トピックをピックアップ。
広島大学の最新情報を紹介します。

学部情報

大学院情報

大学の動き

第4回平和学長会議を開催

世界9カ国・地域の12大学の学長らで平和と持続可能な社会に向けた大学の役割を議論

8月6日、「第4回平和学長会議」が、広島大学東千田キャンパス内のSENDA LABにて開催されました。広島大学は、「平和を希求する精神」の理念の下、平和と持続可能な社会の構築に向け、大学の役割を議論する「平和学長会議」を2024年8月に初めて開催して以来これまで3回の会議を重ねてきました。第4回となる今回も、平和学長宣言の趣旨に賛同した9カ国・地域、12大学の学長らが集結しました。会議の終盤では、越智学長によって「第4回平和学長宣言」が読み上げられ、参加大学の賛同により、宣言が採択されました。広島大学は被爆地広島に開学した「平和の大学」として、引き続き、世界の主要大学の学長らと共に、持続可能な平和への道筋を探ります。



総合科学部

叢書インテグラレ024 および023を刊行しました

個々の研究者の「総合」への努力と、異なる研究分野の協同の試みを紹介するために毎年刊行しています。ラテン語の「Integrare」は「修復する」「完全なものにする」の意であり学部の欧文名称にも用いられています。



教育学部

造形芸術系コースの学生作品(画像)を 展示した路面電車が運行されました

路面電車をギャラリーと見立てて運行する広島電鉄の企画「走る美術館」に参加しました。2月28日から3月末まで、造形芸術系コースの学生など合計18人の作品約50点の画像を展示した車両が、広島市内の路線で運行されました。



文学部

文学部1年生が 被爆体験講話を聴講しました

ひろしまの平和の継承・発信を目的に実施している被爆体験講話。1年次の「教養ゼミ」で、被爆体験証言者の梶本淑子さんと伝承者の青木圭子さんに、原爆投下の状況や核廃絶への願いを語っていただきました。



法学部

広島大学法学部と広島弁護士会との 連携協定を締結しました

広島大学法学部・広島弁護士会間の連携協定を締結しました。協定に基づき、法学部の講義へ弁護士を派遣することで、実務上の知見や法曹の魅力が学生に伝わります。地域に根ざした法曹人材養成に向けたより一層の連携強化が期待されます。



経済学部

パラカ株式会社主催の 研修に参加しました

経済学部の学生6人が、5月10、11日に安芸高田市でパラカ主催の研修に参加。芝張りなどの自然体験や企業現場の話を通じ、実践的な知識を深めました。この研修は、本学部卒業生であるパラカの内藤亨会長との縁により昨年より実施されています。



理学部

海外派遣・留学学生報告会を 開催しました

5月30日、附属未来創生科学人材育成センター主催の海外派遣・留学体験発表会を開催しました。現地での学びや食文化、お金の事情など多彩な話題と活発な質疑が盛り上がり、参加した学生にとって、貴重なヒントが得られる機会となりました。



医学部

医学科1年生が医学部疎開之地・ 高林坊を訪問しました

医学部の前身校が原爆投下前日に疎開した安芸高田市にある高林坊を、医学科1年生が訪問しました。境内の清掃や創立80周年の記念碑の見学を通じ、広島復興を医療で支えた先人に思いをはせると共に、平和を希求する心を見つめ直しました。



歯学部

乳がん増悪化のメカニズムを解明、 新たな創薬へ

細胞分子薬理学の吾郷由希夫教授、浅野智志助教らは、乳がん細胞内で神経ペプチド受容体VIPR2が二量体化(2つの受容体分子が結合してペアを作る)することを示し、乳がんの増殖や転移の一要因であることを発見しました。二量体化を防ぎ副作用の少ない治療薬の開発が期待されます。



薬学部

「春の広島大学 生薬および 薬用植物観察会」を開催しました

6月15日に広島大学薬学部附属薬用植物園で「春の広島大学 生薬および薬用植物観察会」を開催しました。晴天のなか、植物園内の薬用植物や漢方生薬の観察、屋外デッキでの葛根湯の構成生薬の観察や味見、漢方軟膏4種の軟膏練り体験を楽しみました。



工学部

工学部公式Instagramを開設

高校生が知りたい工学部学生のリアルな学生生活などを発信していくため、工学部公式Instagramを開設しました。学生たちが取材・撮影、編集から分析までを行い、Instagramで発信していきます。ぜひ、フォローをお願いします。



生物生産学部

教養ゼミ体験学習を実施しました

初年次インターンシップの一環として、学部1年生全員が県内の協力機関において梨やリンゴの摘果、田植えなど農作業を体験しました。この体験を通して現在の農業における問題を把握し、その解決方法をゼミナール形式で話し合い、発表会を行います。



情報科学部

1年生が最先端に触れる — 有識者講演を開催 —

1年生を対象とした教養ゼミで、LINEヤフー研究所、ANA、NTTデータニューソン、広島県の有識者がビッグデータの活用などについて講演。情報科学を学ぶ学生にとって刺激的で、学習意欲を掻き立てられる大変貴重な機会となりました。



人間社会科学部

研究科ホームページに 特設サイトを開設しました

研究科ホームページに、各プログラムの修了生・在学生の声、教員の研究紹介やプログラム紹介動画・パンフレットを掲載した特設サイトを開設しました。本研究科への入学を検討されている方など、ぜひご覧ください。



先進理工系科学研究科

リトアニアのカウナス工科大学と 国際交流協定を締結

カウナス工科大学と国際交流協定などを締結し、協定締結にあわせて国際共同セミナーも開催しました。本協定の締結とセミナー開催を契機に、今後さらにグローバルな視野での教育・研究活動を強化していきます。



統合生命科学研究科

新たな統合生命科学研究科長が 就任しました

4月より東京大学の船津高志名誉教授を研究科長に迎え、新年度の教育および研究をスタートさせました。生命科学研究の世界トップレベルの教育・研究体制を構築し、次世代の社会に貢献できる人材の育成に努めてまいります。



医系科学研究科

霞地区教授会合同 ポスター発表 および研究者交流会を開催しました

7月10日、研究者間の活性化を図り、新たな分野融合型の研究の創出や研究力・教育力の向上につなげることを目的とした研究者交流会が開催されました。当日は、新任教授による研究室紹介のポスター発表を実施し、活発な意見交換が行われました。



スマートソサイエティ実践科学研究院

研究院初の修了生を輩出

3月、博士課程前期の学生11人が本研究院を修了し、2023年の本研究院の設立以降初の修了生輩出となりました！7カ国から集った修了生たちは、日本企業への就職や博士課程後期への進学など、それぞれの道へ進んでいきます。



部活動・サークル紹介

広大生のアクティブライフ!

2025年 4月 天皇杯全広島サッカー選手権大会決勝大会準優勝
 2024年 12月 全日本大学サッカー選手権大会強化ラウンドベスト4
 2024年 10月 中国大学サッカーリーグ1部優勝(2年連続11回目)

カテゴリーを超えた
熱い絆、全員本気!

“サッカー部”

プレーと運営の両面で成長し、人間力が磨ける環境

全国大会ベスト4を目指し、それぞれが目標に向かって全力で挑戦中! 練習だけでなくチーム運営にも携わり、主体性やチームワークを育てています。さらに、ピースマッチやサッカースクールなど、地域貢献にも力を注いでいます。本気で自分を高め、仲間と共に大きな目標に挑戦したい方の参加をお待ちしています!



部員数 87人
活動日 火・水・木・金・土・日
南グラウンド

HP



X

Instagram

Facebook

TikTok



未経験でも大歓迎!
経験者なら……
ぜひあなたのノウハウ、
伝授してください!



“応援団”

選手や観客を 声の力で元気に

新しいことに挑戦したい方、選手や観客を笑顔にしたい方、私たち応援団は、そんなあなたを心から歓迎します! 筋トレや柔軟体操などを通して応援の気持ちをストレートに伝えられる体と心を作ります。「声が人を元気にする」その魅力を実感できるのは応援団ならではです。きっと後悔はさせません! 未経験からのスタートでも大歓迎です。ご入団を、団員一同お待ちしております!

RCCラジオLet'sラジケーションFES2025出演
フラワーフェスティバル
(校友会ステージやカーネーションステージ)での出演



部員数 15人
活動日 火・木・日
北体育館、体育系課外活動
共用施設横駐車場

X

Instagram



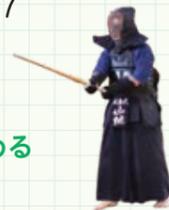
2025年 7月 全日本学生剣道選手権大会出場
2024年 11月 全日本女子学生剣道優勝大会出場
2024年 9月 中四国女子学生剣道優勝大会第三位

“剣道部”

伝統を大切に、進化を追い求める メリハリある稽古で強さを磨く

全国での活躍を目指し、春の選手権大会、夏の優勝大会に向けて日々稽古に励んでいます! 遠征や合宿、寒稽古があり、研鑽しながら切磋琢磨できる関係です。他にはない貴重な経験ができ、密度の濃い4年間になること間違いなしです! 高校から始めた人や中学まで続けていた人など、背景はさまざまなのでお気軽に見学へお越しください!

稽古場外には和装の
応援団員がいます



X Instagram HP



部員数 25人
活動日 月・火・水・木・金・土
西体育館2階剣道場



Campus Gallery

HU photos

Instagramで#広島大学の付いた投稿からお届けします。



投稿者 Romeo Toringさん
#広島大学 #hiroshimauniversity

ひろティー活動記録



ゆるキャラの祭典
「ゆるパース」2025に出場中!

あなたの1票がチカラになります!
応援よろしくね~!

8/1(金)~9/27(土)まで、
1人1日1票投票可能だよ!
詳しくはこちら!



広島大学にまつわる写真を
#広島大学を付けてInstagramに投稿
してください。テーマは何でもOK!
素敵な写真をお待ちしています。

投稿
募集中!



投稿が掲載された方には
広島大学
オフィシャルグッズ
「トートバッグ」をプレゼント

WEBアンケートにご協力ください

読者の皆さまからのご意見、ご要望、情報提供をお待ちしております。
いただいたアンケート内容は、今後の誌面づくりに活用させていただきます。



WEBアンケートはこちら

HU-plus

検索

読者プレゼント

アンケートにご回答いただいた方の中から抽選で合計6名様にプレゼント!

※応募締切:2025年11月30日必着 厳正な抽選の上、商品の発送をもって当選の発表にかえさせていただきます。

A HUオリジナルグッズ
「アクリルキーホルダー」

2名様



B HUオリジナルグッズ
「ドライTシャツ」
Lサイズ

1名様



C 漫画

『ヒロ子さんと巡る広島大学』
弘兼憲史・ヒロカネプロダクション作画
(広島大学出版会)

3名様



詳しくはこちら

東広島市のふるさと納税返礼品に広大グッズが登場!
HUドライTシャツ、東広島キャンパス内で伐採されたアカマツ古木を使用した万年筆の2種類です。



広島大学基金

※広島大学が躍動し広島の地を活性化させる基金
(広島大学75+75周年に向けて)・応急学生支援金を含む

● 高額のご寄附をいただいた方 (2025年2~5月まで)

個人 10億円以上 法人 20億円以上

佐竹 利子 様
[特別寄附者]

個人 5億円以上 法人 10億円以上

岡田 外科医院 様
[「学費」]

個人 5000万円以上 法人 1億円以上

公益財団法人
広島大学教育研究支援財団
理事長
佐竹 利子 様
株式会社 サタケ 様
[「学費」]

一般財団法人緑風会 様
[「学費」]

財団法人渋谷育英会 理事長
小丸 法之 様
[「学費」]

池田 英明 様
[「学費」]

矢野 博文 様
[「学費」]

個人 1000万円以上 法人 2000万円以上

医療法人社団 浜中皮ふ科クリニック
理事長
浜中 和子 様
[「名譽校友」]

書馬 輝夫 様
[「名譽校友」]

医療法人あかね会 理事長
土谷 治子 様
[「名譽校友」]

株式会社広島銀行 代表取締役頭取
部谷 俊雄 様
[「名譽校友」]

株式会社バルコム 代表取締役
山坂 哲郎 様
[「名譽校友」]

医療法人社団 まりも会
ヒロシマ平松病院 理事長
平松 廣夫 様
[「名譽校友」]

医療法人たんぽぽ会 理事長
大嶋 俊一 様
[「名譽校友」]

小野 光代 様
[「名譽校友」]

児玉 治 様
[「名譽校友」]

アビ株式会社 代表取締役社長
野々垣 孝彦 様
[「名譽校友」]

医療法人社団 昭信会
瀬島産婦人科病院 理事長
瀬島 信 様
[「名譽校友」]

医療法人社団 ヤマナ会
会長
山名 征三 様
[「名譽校友」]

株式会社メンテックワールド
代表取締役社長
小松 節子 様
[「名譽校友」]

児玉 咲子 様
[「名譽校友」]

東洋観光グループHD
日本基準復興株式会社
代表取締役
今井 誠則 様
[「名譽校友」]

勝矢 博 様
[「名譽校友」]

越智 光夫 様
[「名譽校友」]

松川 博之 様
[「名譽校友」]

平尾 泰保 様
[「名譽校友」]

猫本 宏司 様
[「名譽校友」]

三嶋 弘 様
[「名譽校友」]

鶴野 俊雄 様
[「名譽校友」]

村上 清貴 様
[「名譽校友」]

徳永 彰 様
[「名譽校友」]

星山 政昭 様
[「名譽校友」]

天野 純子 様
[「名譽校友」]

藤岡 道治 様
[「名譽校友」]

個人 500万円以上 法人 1000万円以上

株式会社村上農園
代表取締役
村上 清貴 様
[「名譽校友」]

オタフクノース株式会社
取締役会長
佐々木 直義 様
[「名譽校友」]

医療法人社団 伯英会
のぞみ整形外科
理事長
安田 真衣子 様
[「名譽校友」]

医療法人社団 楓会
理事長
林 淳二 様
[「名譽校友」]

医療法人社団 楓会
理事長
林 淳二 様
[「名譽校友」]

医療法人おち眼科 理事長
越智 温子 様
[「名譽校友」]

株式会社築地 代表取締役
平尾 眞裕美 様
[「名譽校友」]

医療法人せのがわ 瀬野川病院
下原 唯千夏 様
[「名譽校友」]

社会医療法人社団 沼隈病院
理事長
樋谷 鞠子 様
[「名譽校友」]

株式会社サクラ
代表取締役社長
山本 浩 様
[「名譽校友」]

公益社団法人内外くえい会
代表理事
高橋 喜人 様
[「名譽校友」]

医療法人社団 玄同会 理事長
小島 敬太郎 様
[「名譽校友」]

医療法人多布施クリニック
理事長
諸隈 啓子 様
[「名譽校友」]

株式会社 社会人グループ
代表取締役
福井 滋 様
[「名譽校友」]

株式会社ニビルサービス
代表取締役
濱野上 隆志 様
[「名譽校友」]

西川ゴム工業株式会社
代表取締役会長
西川 正洋 様
[「名譽校友」]

広島信用金庫
理事長
武田 龍雄 様
[「名譽校友」]

株式会社日本
クライメイトシステムズ
理事長
川上 武 様
[「名譽校友」]

広島電鉄株式会社
代表取締役会長
板田 昌夫 様
[「名譽校友」]

広島口ターリークラブ 様
[「名譽校友」]

三井住友信託銀行株式会社
代表取締役社長
橋本 勝 様
[「名譽校友」]

バラカ株式会社 代表取締役
内藤 亨 様
[「名譽校友」]

河野 修典 様
[「名譽校友」]

坂下 勝 様
[「名譽校友」]

佐々木 元 様
[「名譽校友」]

小林 正夫 様
[「名譽校友」]

佐藤 利行 様
[「名譽校友」]

宮崎 成樹 様
[「名譽校友」]

登田 隆 様
[「名譽校友」]

関 和子 様
[「名譽校友」]

海生 俊史 様
[「名譽校友」]

浅野 宏國 様
[「名譽校友」]

内池 平樹 様
[「名譽校友」]

川真田 智子 様
[「名譽校友」]

邱文揚 様
[「名譽校友」]

石井 知行 様
[「名譽校友」]

早川 武敏 様
[「名譽校友」]

個人 100万円以上 法人 100万円以上

株式会社紀陽
代表取締役社長
寒川 起佳 様
[「冠寄附者」]

医療法人社団 みくみく
サンクリニック
理事長
中村 雄二 様
[「冠寄附者」]

医療法人社団 伯英会
のぞみ整形外科
理事長
安田 真衣子 様
[「冠寄附者」]

医療法人社団 楓会
理事長
林 淳二 様
[「冠寄附者」]

医療法人社団 楓会
理事長
林 淳二 様
[「冠寄附者」]

医療法人おち眼科 理事長
越智 温子 様
[「冠寄附者」]

株式会社築地 代表取締役
平尾 眞裕美 様
[「冠寄附者」]

医療法人せのがわ 瀬野川病院
下原 唯千夏 様
[「冠寄附者」]

社会医療法人社団 沼隈病院
理事長
樋谷 鞠子 様
[「冠寄附者」]

株式会社サクラ
代表取締役社長
山本 浩 様
[「冠寄附者」]

公益社団法人内外くえい会
代表理事
高橋 喜人 様
[「冠寄附者」]

医療法人社団 玄同会 理事長
小島 敬太郎 様
[「冠寄附者」]

医療法人多布施クリニック
理事長
諸隈 啓子 様
[「冠寄附者」]

株式会社 社会人グループ
代表取締役
福井 滋 様
[「冠寄附者」]

株式会社ニビルサービス
代表取締役
濱野上 隆志 様
[「冠寄附者」]

西川ゴム工業株式会社
代表取締役会長
西川 正洋 様
[「冠寄附者」]

広島信用金庫
理事長
武田 龍雄 様
[「冠寄附者」]

株式会社日本
クライメイトシステムズ
理事長
川上 武 様
[「冠寄附者」]

広島電鉄株式会社
代表取締役会長
板田 昌夫 様
[「冠寄附者」]

広島口ターリークラブ 様
[「冠寄附者」]

三井住友信託銀行株式会社
代表取締役社長
橋本 勝 様
[「冠寄附者」]

バラカ株式会社 代表取締役
内藤 亨 様
[「冠寄附者」]

河野 修典 様
[「冠寄附者」]

坂下 勝 様
[「冠寄附者」]

佐々木 元 様
[「冠寄附者」]

小林 正夫 様
[「冠寄附者」]

佐藤 利行 様
[「冠寄附者」]

宮崎 成樹 様
[「冠寄附者」]

登田 隆 様
[「冠寄附者」]

関 和子 様
[「冠寄附者」]

海生 俊史 様
[「冠寄附者」]

浅野 宏國 様
[「冠寄附者」]

内池 平樹 様
[「冠寄附者」]

川真田 智子 様
[「冠寄附者」]

邱文揚 様
[「冠寄附者」]

石井 知行 様
[「冠寄附者」]

早川 武敏 様
[「冠寄附者」]

個人 100万円以上 法人 100万円以上

医療法人エム・エム会
理事長
白川 泰山 様
[「冠寄附者」]

医療法人社団 井野口病院
理事長
井野口 千秋 様
[「冠寄附者」]

一般社団法人 東広島地区医師会
会長
山田 謙慈 様
[「冠寄附者」]

医療法人小田内科クリニック
理事長
小田 弘明 様
[「冠寄附者」]

医療法人社団 楓会
理事長
林 淳二 様
[「冠寄附者」]

医療法人おち眼科 理事長
越智 温子 様
[「冠寄附者」]

株式会社築地 代表取締役
平尾 眞裕美 様
[「冠寄附者」]

医療法人せのがわ 瀬野川病院
下原 唯千夏 様
[「冠寄附者」]

社会医療法人社団 沼隈病院
理事長
樋谷 鞠子 様
[「冠寄附者」]

株式会社サクラ
代表取締役社長
山本 浩 様
[「冠寄附者」]

公益社団法人内外くえい会
代表理事
高橋 喜人 様
[「冠寄附者」]

医療法人社団 玄同会 理事長
小島 敬太郎 様
[「冠寄附者」]

医療法人多布施クリニック
理事長
諸隈 啓子 様
[「冠寄附者」]

株式会社 社会人グループ
代表取締役
福井 滋 様
[「冠寄附者」]

株式会社ニビルサービス
代表取締役
濱野上 隆志 様
[「冠寄附者」]

西川ゴム工業株式会社
代表取締役会長
西川 正洋 様
[「冠寄附者」]

広島信用金庫
理事長
武田 龍雄 様
[「冠寄附者」]

株式会社日本
クライメイトシステムズ
理事長
川上 武 様
[「冠寄附者」]

広島電鉄株式会社
代表取締役会長
板田 昌夫 様
[「冠寄附者」]

広島口ターリークラブ 様
[「冠寄附者」]

三井住友信託銀行株式会社
代表取締役社長
橋本 勝 様
[「冠寄附者」]

バラカ株式会社 代表取締役
内藤 亨 様
[「冠寄附者」]

河野 修典 様
[「冠寄附者」]

坂下 勝 様
[「冠寄附者」]

佐々木 元 様
[「冠寄附者」]

小林 正夫 様
[「冠寄附者」]

佐藤 利行 様
[「冠寄附者」]

宮崎 成樹 様
[「冠寄附者」]

登田 隆 様
[「冠寄附者」]

関 和子 様
[「冠寄附者」]

海生 俊史 様
[「冠寄附者」]

浅野 宏國 様
[「冠寄附者」]

内池 平樹 様
[「冠寄附者」]

川真田 智子 様
[「冠寄附者」]

邱文揚 様
[「冠寄附者」]

石井 知行 様
[「冠寄附者」]

早川 武敏 様
[「冠寄附者」]

個人 100万円以上 法人 100万円以上

広島市医師婦人会 様
Micron Technology
Foundation, Inc. 様
医療法人ピーアイエー
理事長
中村 英雄 様
奥田 晃章 様
山本 清隆 様
森本 忠雄 様
広島大学
総合科学部同窓会 様
常石造船株式会社 様
上 真一 様
医療法人社団 慈杏会
土肥整形外科病院 様
広島大学歯学部
同窓会広島県支部 様
広島日野自動車株式会社
代表取締役社長
上野 孝史 様
藤本 吉範 様
丸正産業株式会社
代表取締役
高羽 謙 様
公益社団法人内外くえい会
代表理事
山本 佳史 様
力田 忠義 様
石原 舜三 様
谷村 秀樹 様
東儀 宣哲 様
岩原 恭代 様
木村 栄一 様
医療法人社団 長寿会
はたのリハビリ整形外科
理事長
畑野 栄治 様
西田 修実 様
中村 昂江 様
吉國 晋 様
高橋 勲 様
医療法人あすか
理事長
永井 眞由美 様
長瀬 洋一 様
西口 千登志 様
長谷川 泰二 様
PT Suzuki
Indomobil Sales 様
代表取締役社長
奥村 洋治 様
株式会社ユニサス
代表取締役会長
松村 公市 様
神谷 研二 様
河原 能久 様
北村 拓也 様
許 泰一 様
協同出版株式会社
代表取締役
小貫 輝雄 様
楠 雄治 様
小池 透 様
公益財団法人
浦上奨学会
理事長
浦上 浩 様
高祖 讓 様
佐藤 裕子 様
重山 俊彦 様
社会医療法人 清風会
理事長
梶原 四郎 様
新谷 貴之 様
鈴木 孝尚 様
住田 忠幸 様
Sumitomo
Corporation Asia &
Oceania Pte. Ltd. 様
高田 隆 様
田中 知満 様
寺本 康俊 様
天道 俊孝 様
土肥 博雄 様
永井 敏隆 様
永井 眞由美 様
長瀬 洋一 様
西口 千登志 様
長谷川 泰二 様
PT Suzuki
Indomobil Sales 様
代表取締役社長
奥村 洋治 様
株式会社ユニサス
代表取締役会長
松村 公市 様
神谷 研二 様
河原 能久 様
北村 拓也 様
許 泰一 様
協同出版株式会社
代表取締役
小貫 輝雄 様
楠 雄治 様
小池 透 様
公益財団法人
浦上奨学会
理事長
浦上 浩 様
高祖 讓 様
佐藤 裕子 様
重山 俊彦 様
社会医療法人 清風会
理事長
梶原 四郎 様
新谷 貴之 様
鈴木 孝尚 様
住田 忠幸 様
Sumitomo
Corporation Asia &
Oceania Pte. Ltd. 様
高田 隆 様
田中 知満 様
寺本 康俊 様
天道 俊孝 様
土肥 博雄 様
永井 敏隆 様
永井 眞由美 様
長瀬 洋一 様
西口 千登志 様
長谷川 泰二 様
PT Suzuki
Indomobil Sales 様
代表取締役社長
奥村 洋治 様
株式会社ユニサス
代表取締役会長
松村 公市 様
神谷 研二 様
河原 能久 様
北村 拓也 様
許 泰一 様
協同出版株式会社
代表取締役
小貫 輝雄 様
楠 雄治 様
小池 透 様
公益財団法人
浦上奨学会
理事長
浦上 浩 様
高祖 讓 様
佐藤 裕子 様
重山 俊彦 様
社会医療法人 清風会
理事長
梶原 四郎 様
新谷 貴之 様
鈴木 孝尚 様
住田 忠幸 様
Sumitomo
Corporation Asia &
Oceania Pte. Ltd. 様
高田 隆 様
田中 知満 様
寺本 康俊 様
天道 俊孝 様
土肥 博雄 様
永井 敏隆 様
永井 眞由美 様
長瀬 洋一 様
西口 千登志 様
長谷川 泰二 様
PT Suzuki
Indomobil Sales 様
代表取締役社長
奥村 洋治 様
株式会社ユニサス
代表取締役会長
松村 公市 様
神谷 研二 様
河原 能久 様
北村 拓也 様
許 泰一 様
協同出版株式会社
代表取締役
小貫 輝雄 様
楠 雄治 様
小池 透 様
公益財団法人
浦上奨学会
理事長
浦上 浩 様
高祖 讓 様
佐藤 裕子 様
重山 俊彦 様
社会医療法人 清風会
理事長
梶原 四郎 様
新谷 貴之 様
鈴木 孝尚 様
住田 忠幸 様
Sumitomo
Corporation Asia &
Oceania Pte. Ltd. 様
高田 隆 様
田中 知満 様
寺本 康俊 様
天道 俊孝 様
土肥 博雄 様
永井 敏隆 様
永井 眞由美 様
長瀬 洋一 様
西口 千登志 様
長谷川 泰二 様
PT Suzuki
Indomobil Sales 様
代表取締役社長
奥村 洋治 様
株式会社ユニサス
代表取締役会長
松村 公市 様
神谷 研二 様
河原 能久 様
北村 拓也 様
許 泰一 様
協同出版株式会社
代表取締役
小貫 輝雄 様
楠 雄治 様
小池 透 様
公益財団法人
浦上奨学会
理事長
浦上 浩 様
高祖 讓 様
佐藤 裕子 様
重山 俊彦 様
社会医療法人 清風会
理事長
梶原 四郎 様
新谷 貴之 様
鈴木 孝尚 様
住田 忠幸 様
Sumitomo
Corporation Asia &
Oceania Pte. Ltd. 様
高田 隆 様
田中 知満 様
寺本 康俊 様
天道 俊孝 様
土肥 博雄 様
永井 敏隆 様
永井 眞由美 様
長瀬 洋一 様
西口 千登志 様
長谷川 泰二 様
PT Suzuki
Indomobil Sales 様
代表取締役社長
奥村 洋治 様
株式会社ユニサス
代表取締役会長
松村 公市 様
神谷 研二 様
河原 能久 様
北村 拓也 様
許 泰一 様
協同出版株式会社
代表取締役
小貫 輝雄 様
楠 雄治 様
小池 透 様
公益財団法人
浦上奨学会
理事長
浦上 浩 様
高祖 讓 様
佐藤 裕子 様
重山 俊彦 様
社会医療法人 清風会
理事長
梶原 四郎 様
新谷 貴之 様
鈴木 孝尚 様
住田 忠幸 様
Sumitomo
Corporation Asia &
Oceania Pte. Ltd. 様
高田 隆 様
田中 知満 様
寺本 康俊 様
天道 俊孝 様
土肥 博雄 様
永井 敏隆 様
永井 眞由美 様
長瀬 洋一 様
西口 千登志 様
長谷川 泰二 様
PT Suzuki
Indomobil Sales 様
代表取締役社長
奥村 洋治 様
株式会社ユニサス
代表取締役会長
松村 公市 様
神谷 研二 様
河原 能久 様
北村 拓也 様
許 泰一 様
協同出版株式会社
代表取締役
小貫 輝雄 様
楠 雄治 様
小池 透 様
公益財団法人
浦上奨学会
理事長
浦上 浩 様
高祖 讓 様
佐藤 裕子 様
重山 俊彦 様
社会医療法人 清風会
理事長
梶原 四郎 様
新谷 貴之 様
鈴木 孝尚 様
住田 忠幸 様
Sumitomo
Corporation Asia &
Oceania Pte. Ltd. 様
高田 隆 様
田中 知満 様
寺本 康俊 様
天道 俊孝 様
土肥 博雄 様
永井 敏隆 様
永井 眞由美 様
長瀬 洋一 様
西口 千登志 様
長谷川 泰二 様
PT Suzuki
Indomobil Sales 様
代表取締役社長
奥村 洋治 様
株式会社ユニサス
代表取締役会長
松村 公市 様
神谷 研二 様
河原 能久 様
北村 拓也 様
許 泰一 様
協同出版株式会社
代表取締役
小貫 輝雄 様
楠 雄治 様
小池 透 様
公益財団法人
浦上奨学会
理事長
浦上 浩 様
高祖 讓 様
佐藤 裕子 様
重山 俊彦 様
社会医療法人 清風会
理事長
梶原 四郎 様
新谷 貴之 様
鈴木 孝尚 様
住田 忠幸 様
Sumitomo
Corporation Asia &
Oceania Pte. Ltd. 様
高田 隆 様
田中 知満 様
寺本 康俊 様
天道 俊孝 様
土肥 博雄 様
永井 敏隆 様
永井 眞由美 様
長瀬 洋一 様
西口 千登志 様
長谷川 泰二 様
PT Suzuki
Indomobil Sales 様
代表取締役社長
奥村 洋治 様
株式会社ユニサス
代表取締役会長
松村 公市 様
神谷 研二 様
河原 能久 様
北村 拓也 様
許 泰一 様
協同出版株式会社
代表取締役
小貫 輝雄 様
楠 雄治 様
小池 透 様
公益財団法人
浦上奨学会
理事長
浦上 浩 様
高祖 讓 様
佐藤 裕子 様
重山 俊彦 様
社会医療法人 清風会
理事長
梶原 四郎 様
新谷 貴之 様
鈴木 孝尚 様
住田 忠幸 様
Sumitomo
Corporation Asia &
Oceania Pte. Ltd. 様
高田 隆 様
田中 知満 様
寺本 康俊 様
天道 俊孝 様

広大さんぽ



2



3



1

写真撮影: 広島大学理学部 4年 國井秀剛

広大な敷地を誇る広島大学。総合博物館とその学生ボランティア団体「CSR(キャンパス・スチューデント・レンジャー)」、関係者の調査で環境省の自然共生サイトに認定された「発見の小径水辺ゾーン」では初夏にさまざまな野鳥が見られます。野鳥との出会いを求めて散策してみたいかがでしょうか？

1 カワセミ

留鳥として日本全国に分布。河川、湖沼など餌となる小魚が捕れる水辺に生息し、川土手や近くの土の崖に巣穴を掘って繁殖する。メスは普通、下のくちばしの半分が赤橙色。キャンパス内の水辺で観察され、ぶどう池でよく見られる。背中は青緑色で美しく輝き、翡翠の別名をもつ。

2 キビタキ

夏鳥として、ほぼ全国の山地の落葉広葉樹林などに渡来して繁殖する。オスは上面が黒く、ひはん肩斑や喉、腰が鮮やかな黄色で、初夏には発見の小径を中心にキャンパス内で美しいさえずりが聞こえる。飛んでいる昆虫を見つけると空中で捕らえる習性(フライングキャッチ)がある。

3 イソヒヨドリ

広島県内では、島しょ部や沿岸に生息するが、近年は市街地に進出しているものも見られ、キャンパス内にも生息している。建物の隙間などを利用して巣を作る。オスは青と赤褐色のツートンカラーが鮮やかで、早春から美しい声でさえずる。



100年後にも世界で光り輝く大学へ

広島大学

編集・発行：広島大学 広報室

〒739-8511 東広島市鏡山1-3-2 TEL:082-424-4383 FAX:082-424-6040

E-mail:koho@office.hiroshima-u.ac.jp

<https://www.hiroshima-u.ac.jp>

